



仰のけに 落ちて鳴きけり 秋の蝉



これから秋は本当の来るのだろうか、と思うほど暑い日が続いていますが、気が付けば日の入りは少し早くなり、日差しも若干和らいだような気がします。一茶が詠んだように、地面に元気なく仰向けになっている蝉も見かけるようになりました。季節は着実に移りかわっていきませんが、9月になっても熱中症で搬送されるケースが全国で1,000人以上あることが報告されており、油断は禁物です。

さて、いよいよ2学期の始まりです。学校では一昨日の30日に本分4校合同でこの夏最後の研修を終え、2学期に向けて準備万端、児童生徒の皆さんの登校を心待ちにしておりました。しばらく静寂に包まれていた学校に主役がそろい、一気に活気と熱気があふれています。今学期は文化・芸術・スポーツの振興をもってこの季節となります。また、修学旅行シーズンも近づいており、教職員一同、気を引き締めて指導・支援に当たってまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます、始業の挨拶といたします。

芸術の秋



ボッチャキャラバン in 高知！

ビッグニュースをお伝えします。ボッチャ競技の普及・啓発のため、日本ボッチャ協会主催のイベント「ボッチャキャラバン 2017」が、全国各地を巡り行われています。なんと、このイベントが「高知ファイティングドッグス」「県立障害者スポーツセンター」のご厚意により、本校を会場に開催することが、急きょ決定し、現在準備を進めているところです。

このイベントでは、ボッチャ競技日本代表の廣瀬選手、平田選手による講演と、児童生徒との交流試合が計画されています。皆さんご存知の通り、廣瀬選手は、リオパラリンピックでチームを銀メダルに導いた、日本のエースであり、ボッチャ界では誰もが憧れるヒーローでもあります。平田選手は最近の日本選手権で3位、準優勝と廣瀬選手に次ぐ実力を持ち、人気も高い代表選手です。日程等は次のとおりです。

<日時>平成 29 年 9 月 7 日 (木) 13:20~

<場所>高知若草養護学校体育館

文化・芸術・スポーツの秋に向けて！

すでにご承知のとおり、本分校の学校経営計画の柱に、「文化・芸術・スポーツの振興」を掲げています。これから、この取組に力を入れるには、最適の季節がやってきます。すでに1学期には、障害者スポーツ大会や紙とあそぼう作品展にエントリーし、各校で入賞、入選の成果を挙げ、この便りでも、うれしいお知らせをいたしました。2学期も積極的にエントリーをしていきたいと考えておりますので、保護者のみなさまのご協力、ご支援、応援をよろしくお願いします。

○主な大会や作品展

月	スポーツ	文化・芸術 (作品募集)
9		・全国肢体不自由児・者美術展 ・スピリットアート
10	・県障害者スポーツ大会 ※フライングディスク競技	
11	・全国障害者スポーツ大会 ・県ジュニアボッチャ大会	・こども県展



全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会 in Tokyo



全国肢体不自由特別支援学校PTA連合総会に本校PTA西森会長(兼中四国会長)と参加してまいりました。8月20日・21日の日程でしたが、ちょうどこの頃の東京は、雨天続きで真夏らしからぬ天候ということで、長袖に上着持参で現地入りしました。ところが、この二日間は、傘をさすこともなく、東京の夏を満喫したのでした。大会はテーマ「つなぐ・つなげる・つながる」とされ、学校だけでなく、関係機関との横のつながり、そして、卒業後の生涯にわたっての縦のつながりを意識した内容でした。分科会テーマ「地域」においても、学校のある地域は横のつながりとして、児童生徒が暮らす地域は縦のつながりとして、どちらもPTA活動等を通して大切にする必要があることを他県の皆さんと共有をしました。

2日目は本大会の目玉、ゴルゴ松本氏による「命の授業・言葉の力でもっと強く、優しく、楽しく生きられる」と題した講演は、さすがエンターテナー、会場を笑いの渦に巻き込みながら、漢字や言葉は先人からの貴重なメッセージとして、人として生きる本質を突いた心に響く内容で、すっかり魅了されました。

また、往年のトップアイドル今や文部科学省視学委員菊池桃子氏は、今なお芸能人としてのオーラを漂わせながら、肢体不自由のあるお子さんのこれまでの育ちと現在、そして、親なき後の将来について、移行行く社会情勢を踏まえた、共生社会について提言されました。中央での全国大会だけあって、700名を超える熱気あふれる2日間で充実したものでした。ただし、懇親会については、内容、料理、おもてなし、コストパフォーマンスのいずれも本県開催の中四国大会が上回っていたことを最後にご報告いたします。